



福岡市科学館がやってくる！ —福岡市科学館アウトリーチ活動プログラム募集要項—

福岡市科学館では、館内で行われているサイエンスショーやプラネタリウム投映を公民館や公共施設に出向いて行う「アウトリーチ活動プログラム」の募集を開始いたします。

①「ゲストティーチャー型」と「活動支援型」

「ゲストティーチャー型」は、当館のスタッフが講師として参加者の前で演示させていただきます。プログラムは、別紙のA～Jになります。

「活動支援型」は、**地域の方々（子どもを含む）**が主役となって参加者の前で演示することを当館スタッフが支援させていただきます。プログラムは打ち合わせ等を行い決定させていただきます。

※「活動支援型」では、内容の打ち合わせや事前講習が数回、ものづくりになった場合は材料等の準備が必要になります。

②参加人数は？

参加人数は少人数から、講堂・体育館など広い場所での多人数対応プログラムもあります。
※プログラムにより異なります。詳細はプログラムリストをご覧ください。

③準備は簡単

ご準備いただくものは、基本的に場所と電源、駐車場だけです。

※「活動支援型」は、事前に相談させていただきます。

※【H.移動プラネタリウム】は別紙をご覧ください。



④募集方法

● 実施予定期間：2026年7月1日～2027年3月1日 **※注意※休館日**

● 応募期間：2026年5月20日（水）～6月10日（水）

※結果通知には、10日～2週間程度かかります。

● 応募方法：添付の応募用紙にご入力の上、メールでご応募下さい。

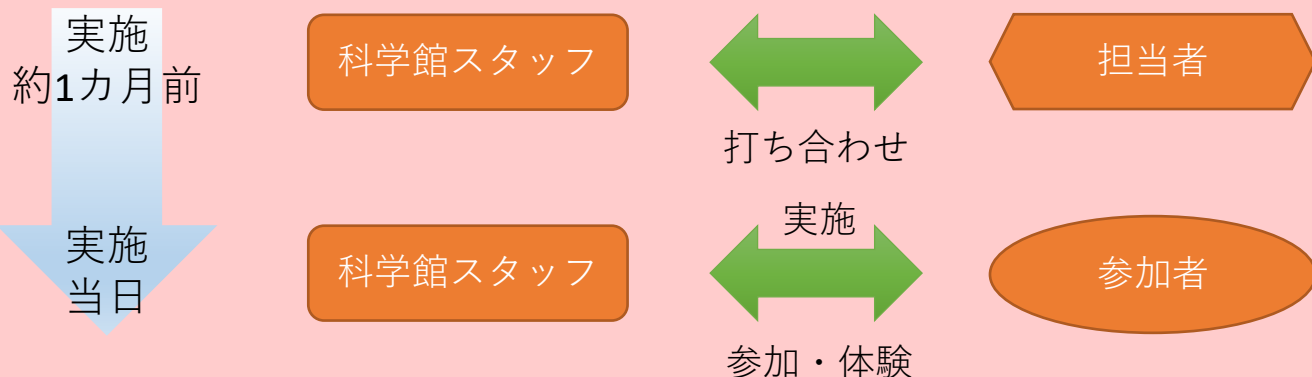
● 応募できるのは福岡市内の団体、小児科病棟のある市内病院となります。

● 実施日や内容は状況によって調整させていただく場合がございます。

ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

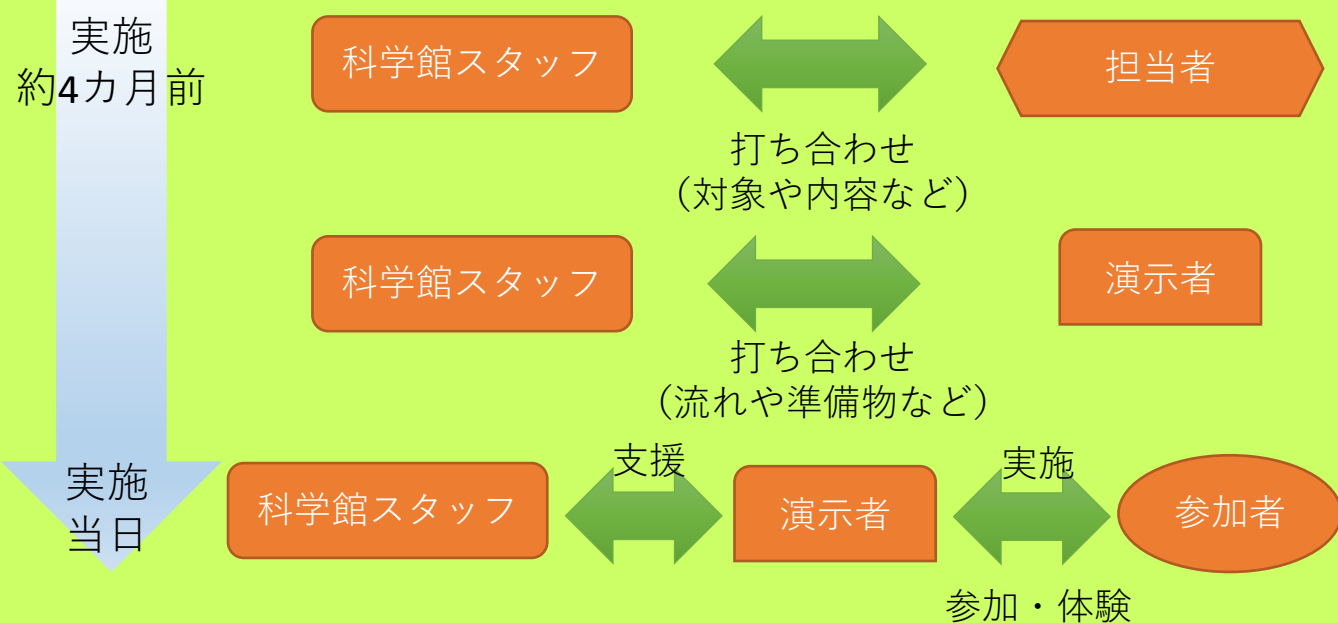
● 複数の内容で、それぞれの候補日がある場合は、テーマごとに別の応募用紙に入力いただきまして、別々に応募ください。（その他特記事項に、その旨の入力をお願いいたします）

「ゲストティーチャー型」実施イメージ(例)



- ① 実施約1か月前を目途に時間や内容等の確認と打ち合わせを行います。
- ② 実施日に科学館スタッフが指定の場所にて実演いたします。
※プログラムは別紙のA～Jになります

「活動支援型」実施イメージ(例)

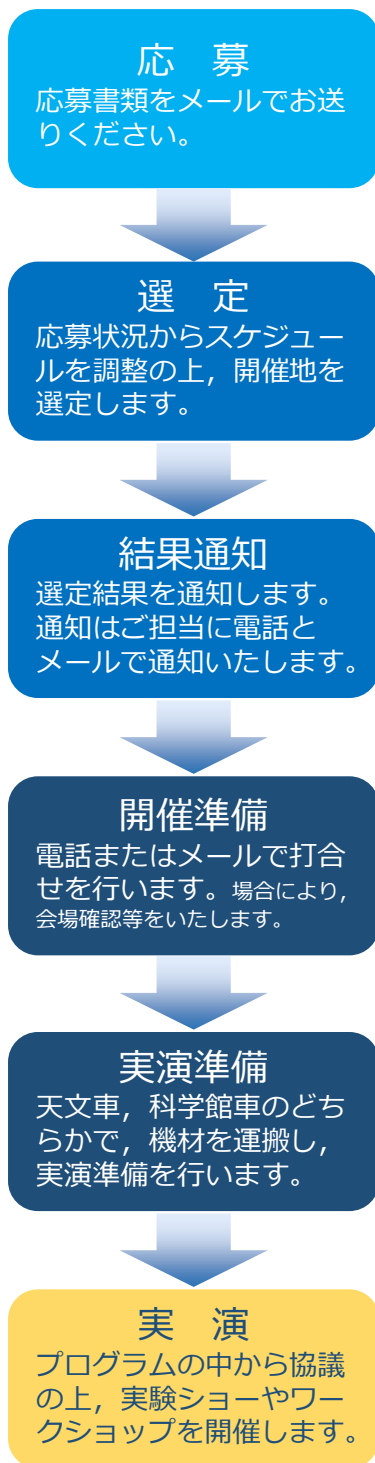


- ① 実施プログラムについては事前に打ち合わせ、プログラム等打ち合わせを行います。
- ② 演示を実施する方と事前講習も含め打ち合わせを行います。
※打ち合わせ回数は決まっておりません

■開催までの主なスケジュール



■開催までの準備フロー



「ゲストティーチャー型」プログラムリスト

	タイトル	対象	概要	
サイエンスショー	A	音のひみつ	音叉や真空ポンプ、身近にある道具を使って音の正体や音の伝わり方、音の高さを変える方法を学びます。	45分 ~200名以上 屋内
	B	空気の色	目には見えない空気の性質を、空気の重さや圧力、空気砲など様々な方法で探ります。	45分 ~200名以上 屋内
	C	超低温の世界	マイナス196度の液体窒素などを活用した冷たい世界の実験。	45分 ~200名以上 屋内
体験	D	ドローン体験	近年急速に活用されているドローンを実際に使い、どんなことができるのかなどを操作を通して探ります。	45分 または 90分 ~20名以内 屋内
	E	宇宙探査ロボット	自律的に動く宇宙探査ロボットをモチーフにしたロボットプログラミング体験を通じて、問題発見、解決力、論理思考力などを養います。	90分 ~20名以内 屋内
	F	プログラミング体験(基礎)	パソコンのスクラッチを使って、プログラミングの基礎を体験します。	90分 ~20名以内 屋内
工作・体験	G	ふうせんでロケット	バルーンアート用の風船でロケットを作り、空気抵抗などを考え、より遠くへ飛ばすように工夫する創作型の実験。	45分 ~40名以内 体育館
観察	H	移動プラネタリウム※	移動プラネタリウムで星空の解説や番組を見ることができます。	45分 ~30名以内 体育館
	I	天体観測	2~3台の天体望遠鏡を使いながら、天体観測を行います。	60分 または 90分 ~20名以内 屋外
実験	J	太陽光の正体	分光シートを用いて分光を行ったり、光の三原色について実験します。	45分 または 90分 ~30名以内 屋内

- 準備や片付けに前後とも1時間必要になります。
- 対象はあくまでも目安です。
- 応募される年齢層・人数に応じて、解説や実験内容を多少カスタマイズさせていただきます。
- プログラムの中には、天候に左右されるものがありますので、天候不順の場合は屋内で可能なプログラムに変更する場合があります。
- Gは体育館のような広い空間が必要となります。

※【H.移動プラネタリウム】について

- ドームを設置するため体育館のような広い空間が必要です。
- ドーム内が高温になるため、7~9月は実施できません。
- 感染症など対策が必要になった場合は、別のプログラムもしくはパソコンと平面プロジェクターなどを用いた星空解説に変更となります。

詳しくは別紙をご確認ください。